

第7章

女性情報ポータル “Winet” の30年を振り返る

森 未知
星野 咲希

1 はじめに

国立女性教育会館（以下、NWEC）は、設立当初より情報機能を重視し、開館2年後の1979年には情報図書室（現・女性教育情報センター）を開室した。

1987年オフィスコンピュータを導入し、文献情報からデータベースの開発に着手。1990年度に中型汎用コンピュータを導入、1991年7月オンライン情報システム「WINET（Women's Information NETwork system, ウィネット）」（以下、WINET）を公開した。

その後、ICTの進化や時代の要請に合わせ、様々なデータベース・サイトを構築・提供し、2000年3月、ヌエック女性情報ニューシステム「WinetCASS（ウィネットキャス）」、2006年4月「女性情報ポータル “Winet”」（以下Winet）を公開、その後Winetは2011年4月、2021年4月にリニューアルを行った。本稿では、この30数年のWinetのこれまでをまとめておきたい。

2 WINET（ウィネット）

1991年7月～2000年2月

1985年5月に発表された『婦人教育情報センター基本構想』では、婦人

II 実践の展開

教育情報センター（現女性教育情報センター、以下、情報センター）を中心とした女性に関する全国的な情報ネットワーク構想が打ち出され、1991年7月パソコン通信によりWINETが公開された。また開館当初から情報の処理及び検索が、主題別及び多角的に行うことができるように用語体系（シソーラス）を検討することも事業計画に入っており、1984年開発に着手し、1987年5月『婦人教育シソーラス（昭和61年度版）』、1990年3月第2版を刊行した。

表1 WINET、WinetCASS変遷

	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	年度
WINET																
文献情報データベース	システム更新									システム更新						
調査情報データベース																
女性関連施設	1991年度		1993年度		1997年度		1999年度		リニューアル	リニューアル						
女性学	1990年度		1993年度		1996年度		1999年度		リニューアル	リニューアル						
学習事例	1992年度				1995年度											
国際交流団体					1994年度											
統計情報データベース							公開	1998.1Web公開			名称変更					
WinetCASS																
女性情報HP-CASS										公開						
女性情報CASS										公開						
女性情報レファレンス事例集										公開						
子育てネットワーク・データベース										2003.9公開						
女性のキャリア形成支援サイト										2006.9公開						
男女共同参画人材情報データベース										2006.9公開						

WINETで提供されたデータベースは、以下のとおりである。

- ・文献情報データベース
 - 図書、地方行政資料、和雑誌記事、新聞記事
- ・学習情報データベース
 - 女性学、女性関連施設、学習事例、国際交流団体
- ・統計情報データベース

文献情報データベースは、現在も続く情報センター所蔵資料のデータベースである。図書・地方行政資料は、書名、著者名、出版社、出版年等の書誌事項、分類、1987年度以降に受け入れたものについては『婦人教育シソーラス』に基づくキーワードを主なデータとしている。和雑誌記事は1978年

度以降受け入れた雑誌のうち、約200誌に掲載された女性・家族に関する記事・論文を選択し、見出し、著者、特集名、掲載誌名、巻号、刊行年月等の書誌事項、図書と同じくシソーラスに基づくキーワードを付与している。新聞記事は1977年10月以降の全国紙・地方紙に掲載された女性に関する記事を選択し、見出し、人名、新聞名、発行年月日、記事中のキーワード(掲載された言葉)をデータとしている。

学習情報データベースは、NWEC独自調査の結果をデータベース化したものである。1992年4月、女性学(1990年度)と施設(1991年度)の2種類から提供を開始した。

女性学は、高等教育機関における女性学関連科目を調査、データ項目は大学名、科目名、担当者、内容、講義の進め方等である。本調査はこの後、1993年度調査が1994年5月、1996年度調査が1998年9月に公開された。

施設は、婦人会館・女性センター・働く婦人の家・農村婦人の家などの女性関連施設を調査、データ項目は施設名称、設置者、住所、設立年、設置目的等である。本調査はこの後、1993年度調査が1994年5月に公開された。

学習事例は1993年4月に1992年度調査が公開された。都道府県・市町村が実施した女性及び家庭教育に関する学級・講座、講演会等の事業内容を調査、データ項目は事業名、主催者、事業目的、開催期間講師名等である。

国際交流団体は1996年3月、1994年度調査が公開された。女性に関わる活動を行っている国際交流団体の調査で、データ項目は団体名称、英語名称、住所、設立年、設立目的等である。

統計情報データベースは「女性及び家族に関する統計の調査研究」(1992～1996年度)における作業結果から、1997年4月に公開した。

NWECは1995年12月25日にホームページを開設し、WINETもインターネット(telnet)を利用しての情報検索が可能となった。

1999年1月、コンピュータシステムの更新により、WINETは申請・登録が不要となり、広く一般に公開された。「女性に関する統計データベース(統計情報データベース)」は、エクセルでダウンロード可能となった。

II 実践の展開

この時点で提供されていた調査情報データベース（旧学習情報データベース）は以下のとおりである。

- ・女性関連施設：1991、1993、1997
- ・高等教育機関における女性学関連科目：1990、1993、1996
- ・地方自治体における女性・家族関連講座（学習事例）：1992、1995
- ・国際交流団体：1994

女性関連施設の1997年版は、全国婦人会館協議会が文部省の委嘱を受けて1997年度に実施した「女性関連施設に関する総合調査」をデータベース化し、1999年1月公開したものである。この後同年7月、全国婦人会館協議会が1998年度に実施した「女性関連施設における〈学習・研修〉事業に関する調査」をデータベース化した、「女性関連施設における〈学習・研修〉事業に関する調査事例集データベース」を公開した。

3 WinetCASS（ウィネットキャス）

2000年3月～2006年2月

2000年3月、ヌエック女性情報ニューシステム「WinetCASS」（Women's Information Network SystemとCross Access Search Systemの略）を公開した。これは全国の女性関連施設等のWebサイトやデータベースの公開の増加により、これらの女性情報の整備及び情報への入り口の整備が緊急の課題となっていることから、以下の2つの新しい機能から構築したものである。

○女性情報HP-CASS（ホームページキャス）

ホームページの横断検索システム。NWECがあらかじめ選択した女性関連施設等のサイトの文字情報を収集し、NWEC内のサーバにインデックスを作成し、検索する。公開時は約80サイトを、女性関連施設、女性学関連研究所、国及び関連機関、生涯学習センター、国連関係の5グループから検

索可能となっていた。

○女性情報CASS（キャス）

データベースの横断検索機能で、現在も提供している。NWEC作成のデータベース・サイト、他の機関がWeb上で公開しているデータベースを一挙に検索することができる。

さらにWinet（旧WINET）のデータベースを見直し、学習事例と国際交流団体は公開を停止した。女性関連施設は2000年10月「女性関連施設1997」と「女性関連施設における〈学習・研修〉事業に関する調査事例集データベース」を統合、「女性関連施設データベース」として公開し、施設概要と実施事業が一挙に検索できることとなった。また従来は調査票を配布・収集し、データベース化と報告書を作成していたが、各施設・大学がリアルタイムにデータ更新ができる共同構築システムを開発した。「女性と家族に関する統計データベース」（旧女性に関する統計データベース）は2000年度より本格的な更新作業を開始し、各省庁の調査結果公表後、なるべく速やかにデータベースに反映するようにした。

2001年3月、全国女性会館協議会が実施した「女性関連施設に関する総合調査 情報・相談事業に関する調査」のデータを女性関連施設データベースに追加し、情報・相談事業についても検索できることとなった。2001年度より毎年調査を行い、調査票による調査に加え、各施設職員がWeb上で登録・更新できるシステムにより、共同構築がスタートした。

高等教育機関における女性学関連科目は、2000年度開講科目の調査を実施し、2001年12月「女性学・ジェンダー論関連科目データベース」として公開した。この年までは調査報告書が刊行されている。2001年度より各大学がWeb上で登録・更新できるシステムにより、共同構築がスタートした。

2000～2001年度「女性教育シソーラスに関する調査研究」を実施し、2002年には『女性情報シソーラス』を刊行するとともに、Winet各データベース・サイトへの組み込みを行った。

2000～2003年度「女性関連施設職員のためのICTサポートプロジェクト」

II 実践の展開

を実施し、2002年5月コンテンツの1つとして「女性情報レファレンス事例集」を公開した。これは女性関連施設の情報担当者にサポートメンバーを依頼し作成する、情報相談（レファレンス）をQ&Aの形式でまとめた事例集である。プロジェクトは2003年度で終了したが、事例集はWinetのデータベースの1つとして、事例の新規作成、見直しをしながら現在も公開している。

文献情報データベースでは、2001年度に新聞記事の遡及入力完了し、データ件数が14万件を超えた。

2002年度文部科学省委託事業「子育てネットワーク等子育て支援団体についての情報提供の在り方に関する調査研究」を実施し、2003年3月「子育てネットワーク等子育て支援団体・教育委員会データベース」を公開した。2003年度も調査を実施しデータを追加したが、2004年度以降は各自治体での情報提供が充実したため更新を停止した。

2002年度「ジェンダー統計に関する調査研究」における検討により出された「改善方針」により、統計データベースをリニューアルし、2003年度名称を「女性と男性に関する統計データベース」に変更した。

ICT環境の進展と、ますます増大する情報量に対応するために、より使い勝手がよく信頼性の高い女性情報ポータル再構築が必要となり、2004年度「女性情報ポータル再構築研究プロジェクト」を設置し調査研究を行った。中心的なユーザーと想定される、施設職員、行政担当者、研究者・教員・学生、団体・グループ関係者等へのニーズ調査や、インターネットで提供されている国内外の女性情報の現状分析等を行い、女性情報ポータルが持つべき機能仕様を策定、サイト構成の原案、並びにポータル再構築に必要な設計を行い、これを基に2005年度に「女性情報ポータル“Winet”」（以下、Winet）を構築した。

上記を基に女性関連施設データベースではトップページに「地図から検索」を取り入れリニューアルし、2005年8月に公開した。

2005年度「多様なキャリア形成を支援するための情報提供システムに関

する調査研究」を実施し、2006年3月「女性のキャリア形成支援サイト」を公開した。

2006年3月「男女共同参画人材情報データベース」を公開した。掲載データは、会館の1988年度以降の各種事業における講師・委員等の方々の内、承諾を得られた計434名の了承を得た項目である。

4 女性情報ポータル“Winet”（ウィネット）

2006年4月～2011年3月

画像1 Winet 2006.4トップページ

女性情報ポータル(総合窓口) [このサイトについて](#) [新着情報](#) [サイトマップ](#)

ウィネット
Winet
[トップ>>](#)

“Winet”(Women's information network)は、女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会形成を目指した情報の総合窓口です。政策担当者、研究者、学習者、団体・グループの方々、メディア関係者等の皆様に役立つ、さまざまなデータベースを提供するとともに、インターネット上の資源ナビゲートします。

[国立女性教育会館](#)
[Eメールレファレンス](#)

横断検索

◆女性情報CASS
 データベース

◆文献情報データベース

◆文献複写Web申込

◆女性関連施設データベース

◆女性学・ジェンダー論関連科目データベース

◆女性と男性に関する統計データベース

◆女性情報レファレンス事例集

◆男女共同参画人材情報データベース

◆女性のキャリア形成支援サイト

◆女性情報シソーラス

◆過去のデータベース

◆Contemporary Women's Issues (随時サービス)

女性情報ナビゲーション 女性情報シソーラスの同義語使用

- ◆ **最新情報**
 - 最近の新聞記事
 - 国の動き
 - 海外の動き
 - 会館情報
- ◆ **歴史・民俗・宗教**
 - 女性史
 - 民俗/宗教
- ◆ **政治・政策・法律**
 - 男女共同参画
 - 女性関連施設
 - 裁判/判例
 - 条約
- ◆ **経済・経営**
 - 起業/経営
 - 農林水産業
 - 福利
 - 開業
- ◆ **科学・技術**
- ◆ **調べ物お役立ちツール**
 - 総合検索エンジン
 - 人物情報
 - 用語集/辞典/事典
 - 統計/年表
 - 団体/NPO情報/助成金
- ◆ **教育・研究**
 - 女性教育/キャリア形成
 - 学校教育
 - 学術研究
- ◆ **社会問題・社会活動**
 - 少子化/次世代育成
 - 高齢社会
 - 地域づくり
 - NGO/NPO
 - 人身売買
- ◆ **世帯・家族**
 - 家族/ひきこり
 - 育児/子育て支援
 - 結婚/離婚/シングル
 - 児童虐待
 - DV/ドメスティック・バイオレンス
- ◆ **ことば・情報・メディア**
 - 女性情報ライブラリー
 - IC/ITメディア
 - 日本女性に関する英語発信サイト
- ◆ **思想・理論・運動**
 - フェミニズム/女性運動
 - 女性学/ジェンダー研究
- ◆ **性・心・からだ・健康**
 - 医療/健康
 - セクシュアリティ
 - 妊娠/出産
 - 不妊
 - 性暴力
 - 相談/カウンセリング
- ◆ **労働・社会保障**
 - 社会保険
 - 女性労働問題
 - セクハラ
 - 保育
 - 介護
- ◆ **暮らし・環境**
 - 生活
 - 環境/災害
- ◆ **文化・芸術・スポーツ**
 - フェミニズム・アート
 - スポーツ

国立女性教育会館女性教育情報センター 〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町善谷728番地
 TEL 0493-62-6711(代表) 内線2220
 Copyright(C)2006,National Women's Education Center,Japan,All rights reserved.
 e-mail:infodiv@nwec.jp

II 実践の展開

Winetは2006年4月公開した(画像1)。以下3つの要素からなる。

- ・女性情報ナビゲーション(リンク集。インターネット上の資源への道案内)
HP-CASSに替わって新規開発
- ・女性情報CASS(会館作成のデータベース、及び他の関連機関のデータベースの横断検索)
- ・国立女性教育会館作成のデータベース・サイト

文献情報データベースでは、同年4月「文献複写Web申込サービス」を開始した。また2006年度、文献情報データベースでは、課題となっていた新聞記事の地方紙入力で、約11ヵ月あったタイムラグを1ヵ月半に縮め、2007年3月末で累計22万件を超えた。

表2 Winet変遷

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	年度
女性情報ポータル"Winet"	公開																		システム移行
文献情報データベース																			
女性関連施設データベース																			
女性と男性に関する統計データベース																			
女性情報レファレンス事例集																			
女性のキャリア形成支援サイト																			
女性情報CASS																			
女性情報ナビゲーション	公開																		リニューアル
女性デジタルアーカイブシステム				公開															システム移行
全国女性アーカイブ所在情報データベース					2010.1公開														
NWEC災害復興支援女性アーカイブ								2013.3公開											
国立女性会館リポジトリ					2009.11公開														システム移行
日本女性のミニコミデータベース																			公開

同年度、文部科学省「女子中高生理系進路選択支援事業」により、「女性のキャリア形成支援サイト」に「理工系」にかかわる仕事・活動の20名のキャリア形成事例を追加した。

2007年度「女性学・ジェンダー論関連科目データベース」「女性と男性に関する統計データベース」「女性情報レファレンス事例集」に機能を追加し、使いやすくする小規模なりリニューアルを行った。

2008年3月、「文献情報データベース」の図書館システム更新により、新着資料お知らせ(アラート)サービスを開始した。2008年度「女性関連施設データベース」に機能を追加し、使いやすくする小規模なりリニューアルを行った。

2008年6月12日、NVECに「女性アーカイブセンター」が開設され、10月15日「女性デジタルアーカイブシステム」を公開した。この際に業務の見直しを行い、「女性学・ジェンダー論関連科目データベース」については、2008年度が最後の調査となった。

2007～2009年度科学研究費補助金「女性アーカイブの構築とその活用に関する実践的研究」により、2010年1月「全国女性アーカイブ所在情報データベース」を公開した。

2009年11月、埼玉県地域共同リポジトリSUCRA（さくら、以下、SUCRA）にNVECの研修、調査研究成果、刊行物等から全文を公開可能なものの登録を開始した。

5 2011年4月リニューアル

2011年4月～2021年3月

2010年度に利便性の高いポータルサイトを目指し、設計の刷新を実施した。トップ画面を「NVECの既に持っている情報を、ユーザーにもっと届きやすく」をコンセプトにリニューアル、2011年4月7日に公開した（画像2）。下記4点の「見える化」を実現した。

- ①「文献情報データベース」等の日々の新着情報が見える。
- ②NVECの情報事業の最新情報がトピックスから常に見える。
- ③NVECが提供するデータベースへの入口を目的別に分け、情報が簡単に見える（探せる）。
- ④NVECの事業・研修・調査研究の成果や、海外専門データベースがピックアップコンテンツから簡単に見える（探せる）。

トップページの英語版も作成し、各データベースに無料のグーグル翻訳を使うことにより、英語によるアクセスが可能となった。

2012年度、ポータルトップページの新着案内RSS、「女性関連施設データベース」に新着案内、その新着案内をポータルトップページに表示する機能

II 実践の展開

画像2 Winet 2011.4 トップページ

Winet 女性情報ポータル ウィネット

"Winet"(Women's information network)は、女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会形成を目指した情報の総合窓口です。

情報の探し方 検索 女性情報ナビ 国立女性教育会館HPへ Winetはまるごと検索

本や雑誌を探す

雑誌記事・新聞記事を探す

女性関連施設を探す

統計データを探す

専門家情報を探す

男女共同参画知恵袋

さらに探す

New arrival | 新着案内

新聞記事 和雑誌記事 本 地方行政資料 Web 統計

もっと見る

- 「自分らしく生きてつながりあうって素敵」 / 岸松江
- 弁護士・坂本福子のセミナー：女性の権利の発展：20世紀から21世紀(9)：私たちの労働と国際基準 / 坂本福子
- 研究室の窓から：男性介護者から考えるジェンダーの今日的課題 / 高橋英穂
- 日韓両弁護士会による「日本軍慰安婦問題の最終的解決に関する提言」：経過とその意義 / 大崎典子
- 「法廷はなぜおどかさ、何が変わったか：性暴力・民族差別・植民地主義 / 東海林路博子 (注記)

Pickup contents

ピックアップコンテンツ

- このサイトについて
- 国立女性教育会館
- 国立大学における男女共同参画状況データベース new
- 女性情報リفرنランス事例集
- SUCRA(埼玉県地域共同プロジェクト)
- 女性デジタルアーカイブシステム
- 海外女性情報専門データベース
- 女性教育情報センター・テーマ展示

Topics | トピックス

- 2011.5.23 国立大学における男女共同参画状況データベースを公開しました
- 2011.4.27 埼玉大学連携授業サポート情報を掲載しました
- 2011.4.7 女性情報ポータル「Winet」トップページをリニューアルしました
- 2011.4.7 女性教育情報センター4-6月テーマ展示「災害と女性」リストを掲載しました
- 2011.4.5 女性情報リفرنランス事例集に新規の事例を公開しました。ぜひご覧ください
- 女性アーカイブセンター展示室は閉鎖展示を行っています

を追加し、情報更新の一層の見える化、情報発信力の拡充を図った。利用者の利便性を高めることを目的に、9月28日新しい「女性デジタルアーカイブシステム」を公開した。2013年3月5日、NWECと全国の女性関連施設等が連携して構築する、女性の視点からの災害復興支援活動の記録を収集・保存し公開する「NWEC災害復興支援女性アーカイブ」を公開した。

2012年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)の助成を受け、所蔵するミニコミ誌の中で、主に「国連婦人の十年」(1976～1985年)までに刊行が開始されたものから45タイトル(約6,000件)の目録を整備し、公開の許諾が得られた「あごら」「全国婦人新聞」「わいふ」等の全文をデジタル化して、2013年4月「日本女性のミニコミデータベース」として、SUCRAで公開した。2013年7月1日より、「女性デジタルアーカイブシステム」上に女

性史年表を公開し、検索機能を拡張した。

2014年4月、SUCRAで公開していた資料を、国立情報学研究所のJAIRO Cloudを利用し、「国立女性教育会館リポジトリ」として公開した。また、「女性情報ナビゲーション」のトップ画面をリニューアルした。

2015年度、「女性情報ナビゲーション」の分野、リンク先の全面的な見直しを行った。「女性関連施設データベース」の登録対象から、閉館や地域の公民館への移行が多かった「農村婦人の家」を外した。

2016年度、「女性関連施設データベース」の調査方法を、Web入力をメインとして効率化を図った。

2017年度、「男女共同参画人材情報データベース」の調査を紙ベースの回答を減らすよう運用の見直しを行い、効率化を図った。2018年度、Winetサーバの脆弱性が指摘され、個人情報についての扱いが厳しくなっていることもあり、8月公開を停止した。

6 Winetリニューアル

2021年4月～現在

2011年4月のリニューアルから9年が経過し、ブラウザの進化やスマートフォン等の普及に対応し、よりユーザアクセシビリティとセキュリティを高めるため、2019～2020年度にかけて全面的なリニューアルを行い、クラウドサーバに移行した。

2021年4月、トップページ、「女性関連施設データベース」「女性情報ナビゲーション」、「女性のキャリア形成支援サイト」をリニューアルし、URLを変更した（画像3）。

2021年9月15日、前年度予算上積み残しとなった「女性情報レファレンス事例集」「全国女性アーカイブ所在情報データベース」「女性と男性に関する統計データベース」のシステムをリニューアル公開した。

2023年3月現在、Winetのデータ件数は、「文献情報データベース」図書・

II 実践の展開

画像3 Winet 2021.4 トップページ



地方行政資料15万件、雑誌4,200件、和雑誌記事8万件、新聞記事58万件、計80万件以上となった。その他のデータ件数は、「女性関連施設データベース」45,000件、「女性情報レファレンス事例集」315件、「女性と男性に関する統計データベース」426件、「国立女性教育会館リポジトリ」6,900件で、文献情報と合わせると計85万件以上である。

7 おわりに

今回 Winet のこれまでを振り返り、継続の大切さをあらためて感じている。デジタル資料は動作する基盤の変化に対応する必要がある、「女性学・ジェンダー論関連科目データベース」のように、データ更新を止めると、データ

ベースの維持は困難となる。一方、統計データの更新が、以前は図書館に行って紙媒体から行っていたものが、現在はe-Stat（政府統計の総合窓口）等から元データを得ることができるようになるなど、ICTの進展により便利になっているところもある。これだけのデータベース・サイトのデータの追加・更新を続けていくことは大変であるが、男女共同参画社会形成のための情報提供の基盤としてのWinetを、今後も着実に提供していきたい。

参考文献

「WINET情報 1～9号」1998～2002 国立女性教育会館リポジトリで提供

<https://nwec.repo.nii.ac.jp/>

安達一寿ほか 2005「女性情報ポータル再構築のための現状分析と機能仕様の設計」『国立女性教育会館研究紀要』第9号 p.133-146

<https://nwec.repo.nii.ac.jp/records/16882>

赤嶺良子、森未知 2014「NWEC情報事業の最近の動きから：「NWEC災害復興支援女性アーカイブ」「日本女性のミニコミデータベース」など」『NWEC実践研究』第4号 p.132-143

<https://nwec.repo.nii.ac.jp/records/17122>

（もり・みち 国立女性教育会館情報課専門職員）

（ほしの・さき 国立女性教育会館情報課情報係主任）